

令和5年度 泉地区 幼保小教育交流事業活動報告

活動テーマ

子どもたちの育ちと学びをつなぐ

活動テーマについて

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、アフターコロナにおける園と小学校とのかかわりについて見直すとともに、子どもの育ちと学びの連続性という視点から再構築します。

交流事業対象の園・校数

認定こども園	6園
幼稚園	8園
保育所	28園
小学校・義務教育学校	15校

年間活動報告

- 6月 園長校長会総会(書面)／担当者会
- 11月 小学校一斉授業研究会(公開授業)
- 11月 健やかか子育て講演会
- 1月 小学校一斉授業研究会(公開授業)
- 2月 園長校長会総会／実践交流会

活動報告① 総会(書面開催)・担当者会(集合開催)

<6月27日(火)> 西が岡小学校体育館

令和5年度
第1回 泉区幼保小教育交流事業
園長・校長・担当者
総会



令和5年6月27日(火)

書面開催

横浜市幼保小教育事業 泉地区実行委員会



年間活動計画を受けて、ブロックごとに具体的な交流計画を立てています。

活動報告② 健やか子育て講演会

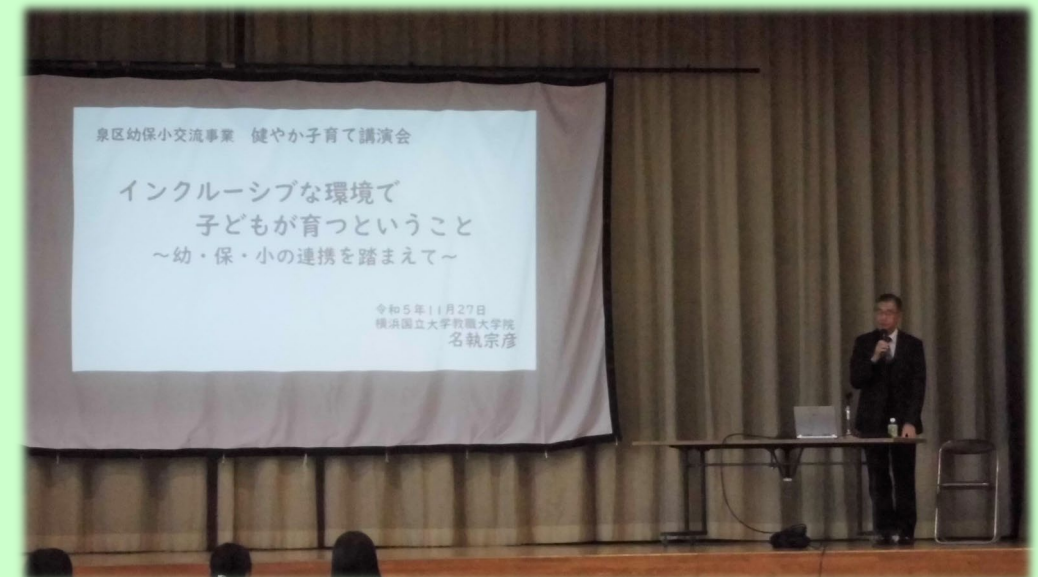
<11月21日(月)> 西が岡小学校体育館

演題

「インクルーシブな環境で
子どもが育つということ」
～幼・保・小の連携を踏まえて～

講師 名執 宗彦先生
(横浜国立大学教職大学院連携教授)

ウェルビーイングの実現には、
様々な困難がありますが、自分
にできることを考え、子どもと
関わっていくことで、そうした社
会に貢献できるようにしていき
たいです。 (参加者アンケートより)



活動報告③ 公開授業研究会

<1月24日(水)>

<11月8日(水)>

国語(西が岡小)

社会(中和田小)

算数(中田小)

理科(いずみ野小)

音楽(東中田小)

図画工作(和泉小)

家庭(下泉小)

体育(伊勢山小)

道徳(緑園学園)

特別活動(中和田小)

特別支援(飯田北いちよう小)

学校図書館(中和田南小)

情報教育(岡津小)

学校食育(上飯田小)

保健(新橋小)

生活・総合(葛野小)

外国語(いずみ野小)

活動報告④ 実践交流会 <2月15日(木)> 新橋小学校体育館

【口述発表】

Aブロック
和泉小学校

Bブロック
中和田南小学校



【文書発表】

Cブロック
緑園学園

Dブロック
中田小学校

Aブロック活動報告

和泉小学校 平和幼稚園 立場エンゼル保育園

和泉小学校ブロック 打ち合わせ

- ▶ ○コロナ禍（昨年度まで）は、直接の交流は行わず、和泉小学校より各園へ
- ▶ 小学校の紹介映像を送り、小学校生活のイメージを持てるような形をとって
- ▶ いた。
- ▶ ○年度初めの担当者会にて、今年度コロナの収束方向に伴い、以前のように
- ▶ 直接交流を実施することを決定。
- ▶ ○各校、園の関係児童園児が関わる大きい行事（運動会、宿泊など）が落ち着
- ▶ く、11月以降日程を設定することを確認。
- ▶ ○11月、電話にて小学校⇔各園の間で、実施日、内容の確認&決定

Aブロック活動報告

和泉小学校 平和幼稚園 立場エンゼル保育園

和泉小学校ブロック 年長児⇔5年生の交流

○年長児との出会い



○事前に考えてきた一緒にできる遊びに取り組む。



○どんな遊びをして過ごしたいか相談し、安心して過ごせるように交流



○園庭で一緒に遊ぶ



Aブロック活動報告 和泉小学校 平和幼稚園 立場エンゼル保育園

和泉小学校ブロック 年長⇔1年生の交流

○1回目の交流



○2回目の交流（学校案内）



Aブロック活動報告

和泉小学校 平和幼稚園 立場エンゼル保育園

和泉小学校ブロック 成果と課題

成果

課題

【幼稚園・保育園】

- ・小学校に行って活動することで、次年度のイメージがもてるようになってきた。
- ・実際に次年度関わるお姉さん、お兄さんと関わることで、安心感に繋がった。

【1年生】

- ・今まで、一番下の学年ということでお世話をしてもらってきたが、年長さんと関わることで進級への意識を高めることができた。
- ・感謝の言葉をもらうことで、自信に繋がり、自分たちの成長を感じることができた。

【5年生】

- ・年長児と関わることで、次年度最高学年になることへの自覚をもつきっかけとなった。

- ・園と小学校それぞれに行事があり、日程の調整が難しかった。
- ・進級前3～4か月の、次年度への意識を高めたい時期での直接交流が重要であると考え実施したが、この時期にインフルエンザ等の流行も多く、難しさを感じた。
- ・園によって在籍人数が大きく違っている場合があるので、小学校として、どのような内容で交流するか、それぞれ個別に考える必要があった。



次年度以降も直接交流を続けることが望ましいと思うが、状況に応じて、前年度まで行っていた映像も併用していくことで、より効果的な交流が行えるように思う。

Bブロック活動報告

中和田南小学校

富士塚幼稚園
くるみ保育園

なかよしこども園
苗場保育園

これまでの 幼・保・小交流

職員間 児童支援専任教諭・養護教諭 中心に

- ・園の見学、情報共有をもとに

→ スタートカリキュラムに反映

1年担任 経験してきた活動 好きな遊び・歌 等

こども間

1年生・5年生 1月 幼・保・小交流会 (年長クラス)

3日間に分けて

富士塚幼稚園 なかよしこども園
くるみ保育園 苗場保育園

稲作活動 (富士塚幼稚園 年中クラス)

R5 幼・保・小交流

これまでに引き続き

- ・子どもたちが安心できる環境づくり

より安心できる環境づくり

- ・子どもたちの主体的な学び・遊び

無理のない交流

年間を通じた交流

Bブロック活動報告

中和田南小学校

富士塚幼稚園
くるみ保育園

なかよしこども園
苗場保育園

<職員間 交流>

職員間 児童支援専任教諭・養護教諭 中心に

- 園の見学、情報共有をもとに

→ 個に応じた対応

→ スタートカリキュラムに反映

1年担任 経験してきた活動 好きな遊び・歌 等

安心して活動する姿

- 新1年生クラス編制

園の先生に依頼

落ち着いて学校生活に慣れていく姿



Bブロック活動報告

中和田南小学校

富士塚幼稚園
くるみ保育園

なかよしこども園
苗場保育園

<児童・園児 交流>

5月 稲作活動



10月 あきをたのしもう



12月 ふゆをたのしもう



1月 お正月あそびをたのしもう



学校探検



Bブロック活動報告

中和田南小学校

富士塚幼稚園
くるみ保育園

なかよしこども園
苗場保育園

成果と課題

成果

(園)

- ・学校の雰囲気はわかってよかった。
- ・小学校への期待と安心をもつことができた。
- ・卒園児の成長を見ることができた。してもらった経験からしてあげたくなる気持ちにつながる良い経験になった。

(1年)

- ・年長時に交流会に来た経験から、自分もやりたいと主体的に学習に取り組む姿が見られた。
- ・年下の園児とのかかわりの中で、優しく接しようとする姿が多くみられるようになってきた。
- ・園児が喜んでる姿を見て、自分の成長に気付き、自信をもつことができた。

(5年)

- ・園児とかかわることで、自分が最高学年になった時の姿を想像するとともに期待感をもつことができた。

(その他)

- ・学校に来てもらうことで、他の学年の児童も園の先生に会うことができ、成長を見てもらうことができた。

課題

- ・交流の日程調整

それぞれの園、学校の行事がある中での交流日の設定は限られている。年間の見通しをもち、余裕をもった計画が大切。

- ・職員同士のかかわり

交流日に顔を合わせるだけでなく、職員同士が顔を合わせる機会を作ることによって、お互いの子ども理解につながる。

成果と課題 来年度に向けて

【成果】

- ・対面で行うことが多くなり、膝を突き合わせて意見交換ができたことは今年度の最大の成果だと考える。
- ・インクルーシブの視点から日常の活動を見直した健やか子育て講演会は、園・校の違いや可能性を考えるよい機会となった。
- ・コロナ前、コロナ禍での取組を整理することで、年度末には来年度の見通しを共有することができた。



【課題】

- ・日程変更や月曜日開催によって参加者が少ない場面があった。見通しをもった年間計画を立て、一人でも多く参加できるような体制を整えていく必要がある。